

福山市人権交流センター ニュース

第90号 2026/9

発行：福山市人権交流センター

編集：NP0 法人ゆにばーさる

〒720-0835 福山市佐波町 262-3

tel (084) 951-5700 fax (084) 951-5701

E-mail:jinken-kouryu-center@city.fukuyama.hiroshima.jp

福山市人権啓発・交流事業「ヒューマンシネマサロン」

映画「おかあさんの被爆ピアノ」

日時：2026年9月27日（日）

10:30～12:25

場所：福山市人権交流センター・ホール

福山市佐波町262-3

入場無料（申込不要）

上映時間：115分



©2020 映画「被爆ピアノ」製作委員会

主なキャスト

佐野史郎／武藤十夢（AKB48）

監督 五藤利弘

森口瑠子／宮川一朗太／大桃美代子

南壽あさ子／ポセイドン・石川

谷川賢作／鎌滝えり



内容紹介

昭和20年8月6日、広島に原爆が投下され、爆心地から3キロ以内で被爆したピアノは「被爆ピアノ」と呼ばれる。被爆2世である調律師の矢川光則は、持ち主から託された被爆ピアノを修理・調律し、自ら運転するトラックに載せて全国を回り、各地に被爆ピアノの音色を届けていた。一方、東京で生まれ育ち、大学で幼児教育を学んでいる江口菜々子は、被爆ピアノの一台を母・久美子が寄贈していることを知り、被爆ピアノのコンサートに出かける。そこで矢川と知り合い、矢川を通して被爆ピアノや祖母のことを考えるようになった菜々子は、自らのルーツを探っていく。

※駐車場台数に限りがあります。できるかぎり乗り合わせでのご来場、または公共交通機関のご利用をお願いします。

「みんな地球のにんげんだもの」～絵本と福山の子どもが描いた絵～のパネル展示しました！

7月23日～8月27日 人権交流センター

ロシア・ウクライナ戦争は5年目に突入し、今年2月28日からはアメリカがイランに武力攻撃を始めました。停戦と攻撃が繰り返されていて、なかなか終息の兆しが見えません。

世界情勢は、平和とは反対の方向に進んでいます。

この展示は、103人の漫画家が描いた絵本と、子どもたちが平和への想いを絵にしたパネルです。

また、併せて7月31日から8月18日までは毎年恒例の平和アピール展も開催しました。

市内の保育所やこども園のこどもたちが作った作品です。



パネル展示の様子



津之郷保育所の作品



山手保育所の作品



赤坂未来園の作品



長和・熊野保育所の作品

ロビー展示 「橋のない川の世界」

期間：9月10日（木）～10月22日（木）

内容： 原作は「住井すゑ」さんで彼女がライフワークとして取り組んだ長編小説です。

1961年第一部が刊行され、第6部が1973年に刊行されています。昭和天皇の死をきっかけに1992年、第7部を書き上げています。

物語は、奈良盆地の農村「小森部落」が舞台で、被差別部落に生まれたがゆえにいわれなき差別を受け、のがれようのない差別からの解放に向けて闘い、不条理を打破するために立ちあがっていく物語です。

いわれのない差別の解決は、人間の平等と人権確立のための闘いであり、その考え方は普遍的な思想としてひろげていかなければなりません。部落差別はいまだに現存しており、その啓発はすべての人権問題の解決に通じるものです。

2026年度ふくやま人権・平和フェスタ ボランティア募集！

毎年12月4日～10日の「人権週間」期間中には、福山市内でさまざまな啓発イベントが行われています。人権交流センターにおいても『ふくやま人権・平和フェスタ』を開催しています。

今年度も多くの人たちのアイデアを出し合った魅力あるフェスタを創造するために、実行委員会を組織します。ぜひスタッフの一員として参加してみませんか。

～活動団体・個人・学生などボランティアの応募をお待ちしています！～